

Q 前立腺癌と言われました。 どのように治療すればいいですか？

回答：市立貝塚病院

副院長 泌尿器科 加藤良成医師



A 高齢化により、前立腺癌が増加。さらに、PSAという腫瘍マーカーにより、早期発見も増えております。

腫瘍マーカーのPSAは、前立腺の細胞より分泌される物質ですので、前立腺の病気以外では上昇しませんが、

転移がなければ、手術、または放射線治療を行います。どちらの治療を

選ぶかは、年齢や癌細胞の悪性度、心臓の病気の有無等により決めます。転移がある場合は、原則ホルモン療法を行います。このホルモン療法は、男性ホルモンを低下させて、癌細胞の増殖を抑える治療で、大多数の方に有効です。ただし、悪性

手術、放射線、ホルモンの どれかで治療する

良性的の前立腺肥大症や前立腺の炎症でも異常値を示します。そのため、確定診断には、前立腺を針で刺して細胞を採取する検査（針生検）が必要です。検査は、入院して、脊椎麻酔下で行います。

針生検で癌が検出されたら、まず転移がないかを調べます。前立腺癌は骨、リンパ節へ転移することが多いためCT、骨シンチ等の検査を行います。転移

度の高い細胞がある場合は、数年でホルモン療法が無効になり、抗がん剤での治療が必要になります。

前立腺癌の治療において、手術、放射線治療、ホルモン療法は三つの柱であり、どの治療を選ばれても高い確率で、良い治療成績が得られます。

前立腺癌と診断されても落ち込むことはありません。前向きに治療を進めれば、健康的な生活が送れます。他の癌と違い、多くの前立腺癌は死に至るような病ではありません。

問 072・4222・5

865 市立貝塚病院

(貝塚市堀3-10-20)

<http://www.hosp.kaiizuka.osaka.jp/>

針生検で癌が検出さ

れたら、まず転移が

ないかを調べます。